

経営比較分析表（令和2年度決算）

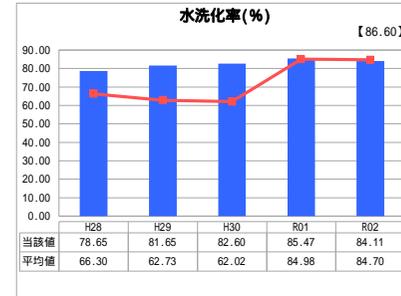
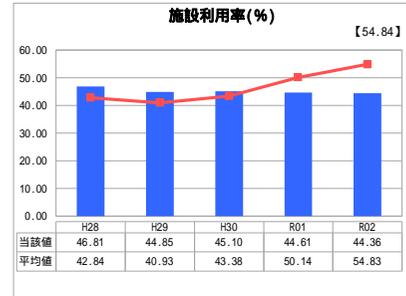
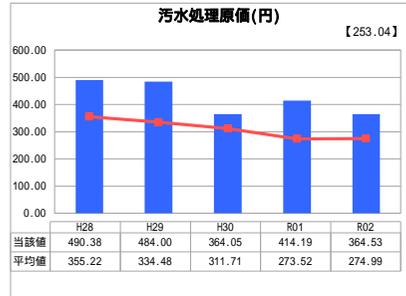
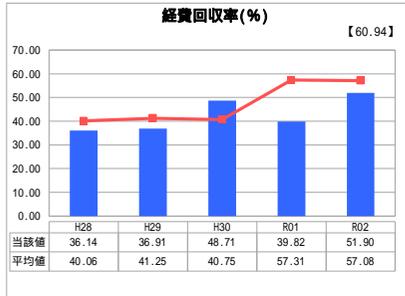
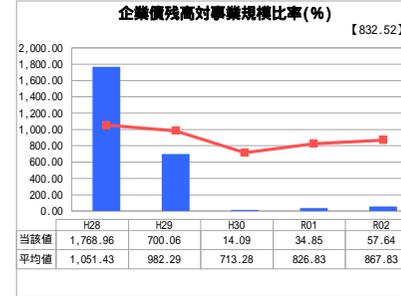
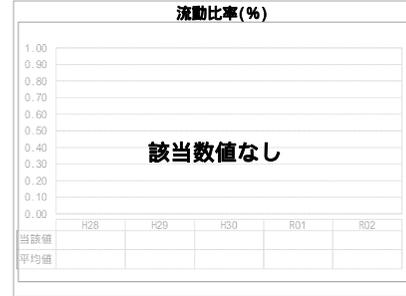
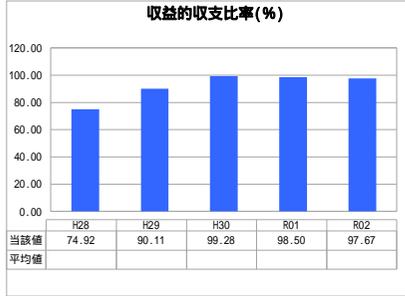
佐賀県 多久市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.19	98.06	3,960

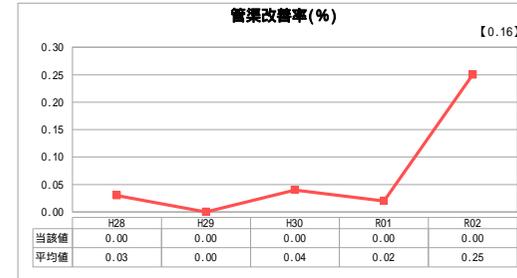
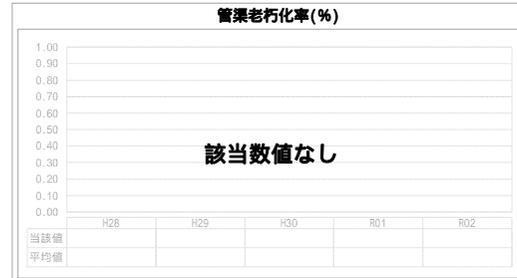
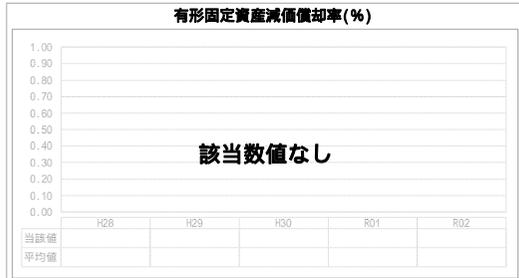
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,721	96.96	193.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
969	0.57	1,700.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率については、前年度より微減であるため、100%を目指して引き続き経営健全に向け取り組んでいきたい。

企業債残高対事業規模比率については、前年度同様に低い比率であり、類似団体平均よりも低い比率を示している。

経費回収率については、令和2年4月より使用料の改定をしたこと、使用料の収納事務を改善し、徴収率を上げたことにより前年度より増加している。今後も経営の健全化を図る。

汚水処理原価については、前年度比で減となっているが、類似団体平均値より下回っている状態であるため、汚水処理に係るコスト削減等、更なる改善を行っていく必要がある。

施設利用率については、供用開始から16年目を迎えてはほぼ横ばいとなっている。事業が完了しており、接続率の向上もあまり見込めないため、頭打ちの状態である。

水洗化率については、供用開始から16年を迎えて、ほぼ横ばいとなっている。事業が完了しており、接続率の向上もあまり見込めないため、頭打ちの状態である。

2. 老朽化の状況について

平成16年度の供用開始であるため、法定耐用年数を超える管渠は該当無しとなっている。

管渠の点検については、必要に応じて実施している。

全体総括

汚水処理に係る費用を使用料以外の一般会計繰入金等に依存している状況にある。

令和元年度より事務事業の効率化を図り、令和2年4月より使用料単価の改定を行いながら、健全な経営を目指しているところである。

老朽化対策につきましては、令和元年度より農業集落排水（機能強化）事業を活用し取り組んでいるところである。